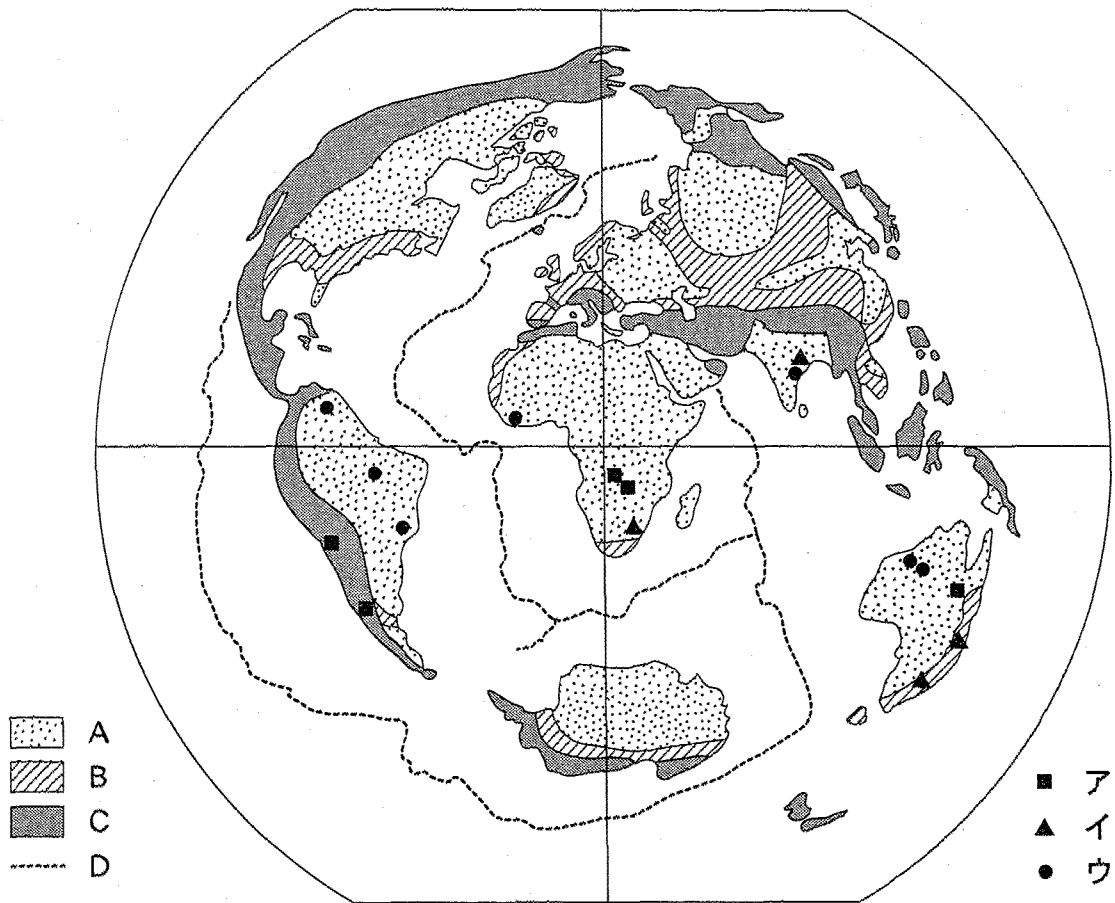


地 理 B

(解答番号 ~)

第1問 世界の自然環境に関する次の問い(問1~7)に答えよ。(配点 20)

問1 次の図1は、世界の大地形の分布を示したものであり、A~Dは安定陸塊、
海嶺、古期造山帯、新期造山帯のいずれかである。古期造山帯に該当するものを、下の①~④のうちから一つ選べ。



赤道上、東経20度の地点を中心にした正距方位図法。
貝塚爽平ほか編『日本の平野と海岸』などにより作成。

図 1

① A

② B

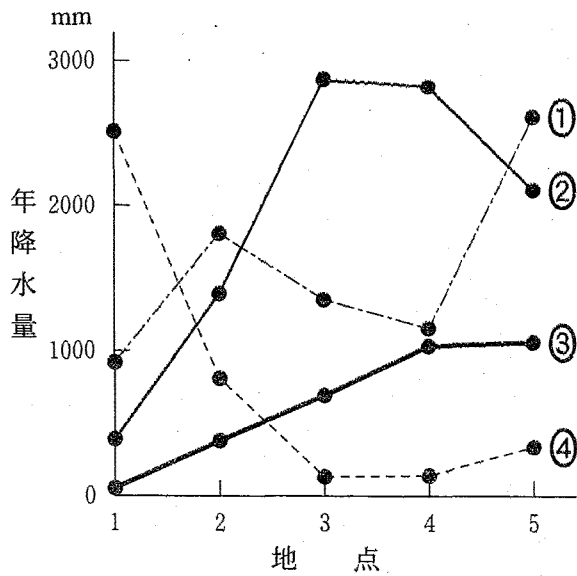
③ C

④ D

問 2 図1中のア～ウは、かつて Gondwana 大陸を構成していた地域における石炭、鉄鉱石、銅鉱のいずれかの資源の主な産地を示している。ア～ウと資源名との正しい組合せを、次の①～⑥のうちから一つ選べ。 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	石炭	石炭	鉄鉱石	鉄鉱石	銅鉱	銅鉱
イ	鉄鉱石	銅鉱	石炭	銅鉱	石炭	鉄鉱石
ウ	銅鉱	鉄鉱石	銅鉱	石炭	鉄鉱石	石炭

問 3 気候には、緯度・地形・海流等の影響を受けた地域差が認められる。次の図2中の①～④は、南アメリカ大陸を示した図3中のK～Nのいずれかのルートについて、ルート上の5地点における年降水量を表したものである。ルートNに該当するものを、図2中の①～④のうちから一つ選べ。 3



『世界気候表』により作成。

図 2

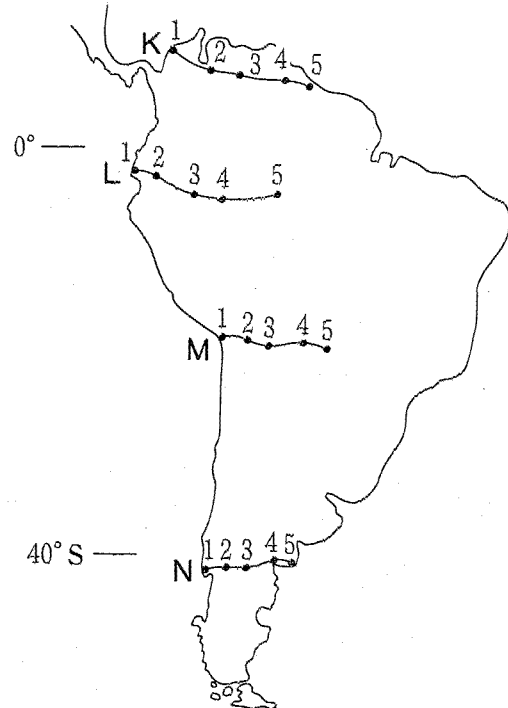


図 3

地理B

問 4 次の図4は、アフリカ大陸のいくつかの水系および湖を示したものである。

図中のチャド湖は、1970年代後半から1980年代にかけて、ある原因により面積が大幅に縮小した。その原因を述べた文として最も適当なものを、下の①～

④のうちから一つ選べ。 4



図 4

- ① 湖周辺の山地において土砂崩れが多発し、多量の土砂が流入することにより、湖の大部分が埋まってしまった。
- ② 付近で産出されるボーキサイトを利用したアルミニウム工業が発展することにより、湖水が多量に工業用水として利用された。
- ③ 降水量が継続的に減少することにより、湖へ流入する水の量が減少し、湖の水位が低下した。
- ④ 湖から取水する大規模な灌漑用水路かんがいが建設されたことにより、湖の水位が低下した。

問 5 次の表1中のカ～クは、図4中のコンゴ川、ザンベジ川、ニジェール川のいずれかの流域における年流出高*と主な気候区**を示したものである。河川名とカ～クとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 5

* 1年間の河川総流出量を流域面積で除し、水深に換算したものの。

**ケッペンの気候区分による。

表 1

	年流出高(mm)	流域における主な気候区
カ	338	Af, Aw
キ	168	Aw, BS, Cw
ク	92	Aw, BS, BW

榎根勇『水と気象』などにより作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
コンゴ川	カ	カ	キ	キ	ク	ク
ザンベジ川	キ	ク	カ	ク	カ	キ
ニジェール川	ク	キ	ク	カ	キ	カ

地理B

問 6 日本では、山地から多量の土砂が運搬され、山麓部^{さんろく}に扇状地が形成されることが多い。扇状地の特徴やその利用について説明した文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 6

- ① 扇状地を流れる河川では、氾濫^{はんらん}から住居や耕地を守るために堤防を高くした結果、天井川が形成されることがある。
- ② 山間部を流れてきた河川は、山麓部において流速が小さくなるので、扇状地の堆積物^{たいせき}は主に粘土で構成されている。
- ③ 桑畑や果樹園に利用されてきた扇中央部には、灌漑用水路の整備により、水田が造成されたところもある。
- ④ 河川は扇中央部において伏流^{ふくりゅう}することがあり、扇端^{ゆうすい}では湧水がみられることが多い。

問 7 日本における火山地域に関する文として下線部が最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 7

- ① 火山地域では、溶岩流や火砕流^{かさいりゅう}のみならず、噴火後の土石流や泥流によっても災害が発生する可能性がある。
- ② 火山の周辺では、上空に吹く風の影響により、火口の東側よりも西側に火山灰が厚く堆積することが多い。
- ③ 火山地域にある国立公園や国定公園では、自然環境保全の観点から、入園料の徴収が義務づけられている。
- ④ 火山の山麓では、温泉や地熱を利用して、野菜や果樹の促成栽培が盛んに行われている。

第2問 世界の産業と都市化に関する次の問い(A・B)に答えよ。(配点 20)

A 次の図1は、地球の夜の姿を写した衛星画像を編集したものであり、白い部分は主に地球上の人間活動によって生じた光を表している。図1を見て、下の問い(問1～4)に答えよ。

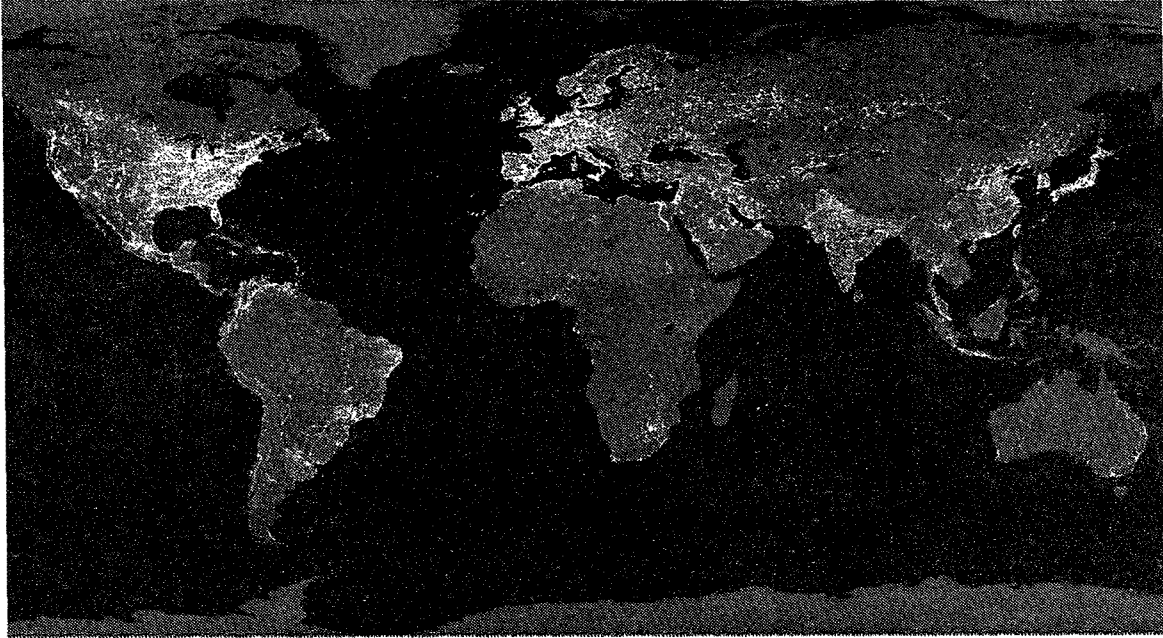


図 1

問1 図1中の光の分布について説明した文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

8

- ① 北アメリカでは、大都市だけでなく中小都市にまで光が広がっている。
- ② 人口規模の大きいインドや中国では、西ヨーロッパよりも光の量が多い。
- ③ アラビア半島には、都市だけでなく油田にも光の塊^{かたまり}がみられる。
- ④ 開発が遅れているアフリカの国々では、全体的に光が少ない。

問 2 図1中にみられる光の分布は、エネルギーの生産・消費にも関係している。
 次の表1は、エネルギー源別発電量と人口百万人当たり発電量を示したものであり、ア～ウは、インド、カナダ、フランスのいずれかである。ア～ウと国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 9

表 1

(単位：億 kWh)

	エネルギー源別発電量				人口百万人 当たり発電量
	水力	火力	原子力	その他*	
ア	3,584	1,738	728	2	196.7
イ	718	530	4,152	7	91.8
ウ	744	4,496	168	15	5.4

*地熱、太陽光、風力、潮力、波力などによる発電量。
 統計年次は2000年。『世界国勢図会』により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	インド	インド	カナダ	カナダ	フランス	フランス
イ	カナダ	フランス	インド	フランス	インド	カナダ
ウ	フランス	カナダ	フランス	インド	カナダ	インド

地理 B

問 3 図 1 中で光の塊がみられる範囲には、世界の主な工業地域が含まれている。

次の①～④の文章は、アメリカ合衆国、オランダ、日本、ロシアのいずれかの国における工業地域の分布とその特徴について述べたものである。オランダについて述べた文章として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

10

- ① この国では、北東部を中心に重化学工業が発達してきた。1970年代以降は、気候が温暖で土地や労働力が安価な南部や西部でも、先端技術産業が発達している。
- ② この国では、輸出入に便利で消費地にも近い臨海部に、重化学工業が発達した。電気機械・電子工業は内陸部にも立地したが、最近では外国に進出する企業も増えている。
- ③ 地下資源に恵まれないこの国では、商業や貿易に重点がおかれ、近隣諸国に比べて重化学工業化が遅れた。しかし、現在では、可航河川の下流に築かれた大規模港湾を拠点にして、石油化学工業が発達している。
- ④ この国では、世界有数の地下資源の産地を中心に、重化学工業のコンビナートが建設された。1990年代以降は、市場経済への転換により、国営企業の民営化が進んでいる。

問 4 韓国は、1960年代以降、著しい経済成長を遂げており、図1中の朝鮮半島の中・南部にも光の塊がみられる。韓国の経済成長とそれにもなう変化について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

11

- ① 1970年代には、重化学工業化が進められ、鉄鋼・造船・自動車などの工業が発達した。
- ② 1980年代以降は、半導体産業の発達が著しく、世界有数のIC(集積回路)生産国となっている。
- ③ 経済成長は、農村から都市への人口移動を引き起こし、都市と農村の間の地域格差を拡大させた。
- ④ 経済成長は、主に中小企業によって推し進められ、巨大な企業集団は形成されなかった。

B 発展途上国と日本の都市化に関する次の問い(問5～7)に答えよ。

問 5 発展途上国では、先進国とは違った都市化の特徴がみられる。それらの特徴について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

12

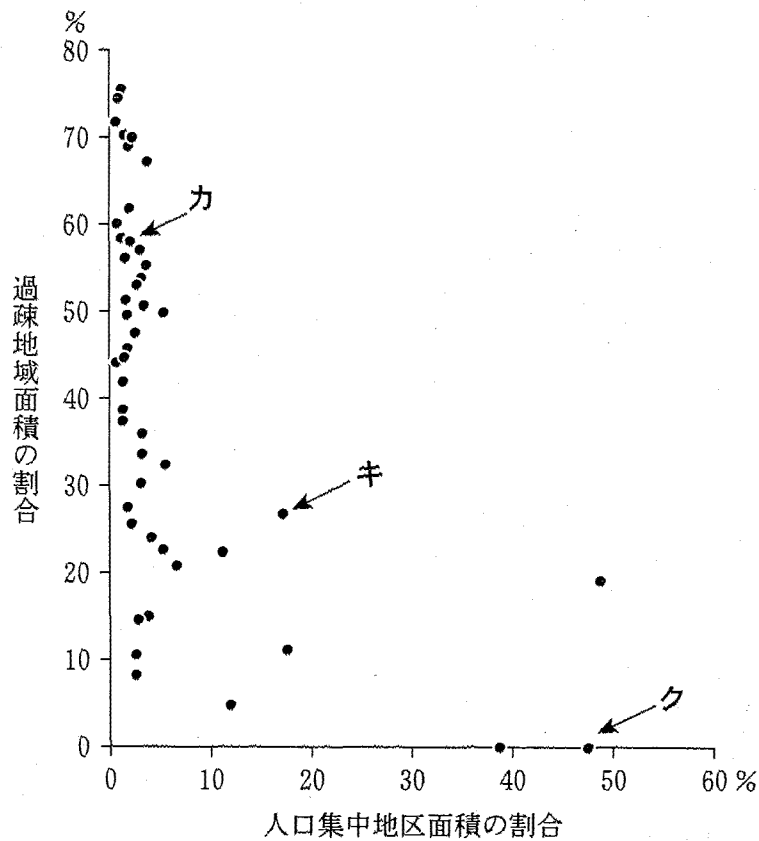
- ① 農村から流出した人口は、近隣の中小都市に集中するため、大都市の人口の伸びは小さい。
- ② 大都市では住民の所得水準が低いため、高級住宅地は形成されない。
- ③ 大都市では人口増加に社会資本の整備が追いつかず、不法占拠した土地で劣悪な住宅に住む人も少なくない。
- ④ 自動車の普及率が低いため、大都市での交通渋滞は発生していない。

地理B

問 6 次の図2は、都道府県ごとの人口集中地区*と過疎地域**の面積が各都道府県面積に占める割合を示したものであり、カ～クは、愛知県、大阪府、山形県のいずれかである。カ～クと府県名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 13

*国勢調査で人口密度4,000人/km²以上の調査区が隣接し、それらの地域の人口の合計が5,000人以上の範囲。

**過疎地域自立促進特別措置法が定めた市町村。

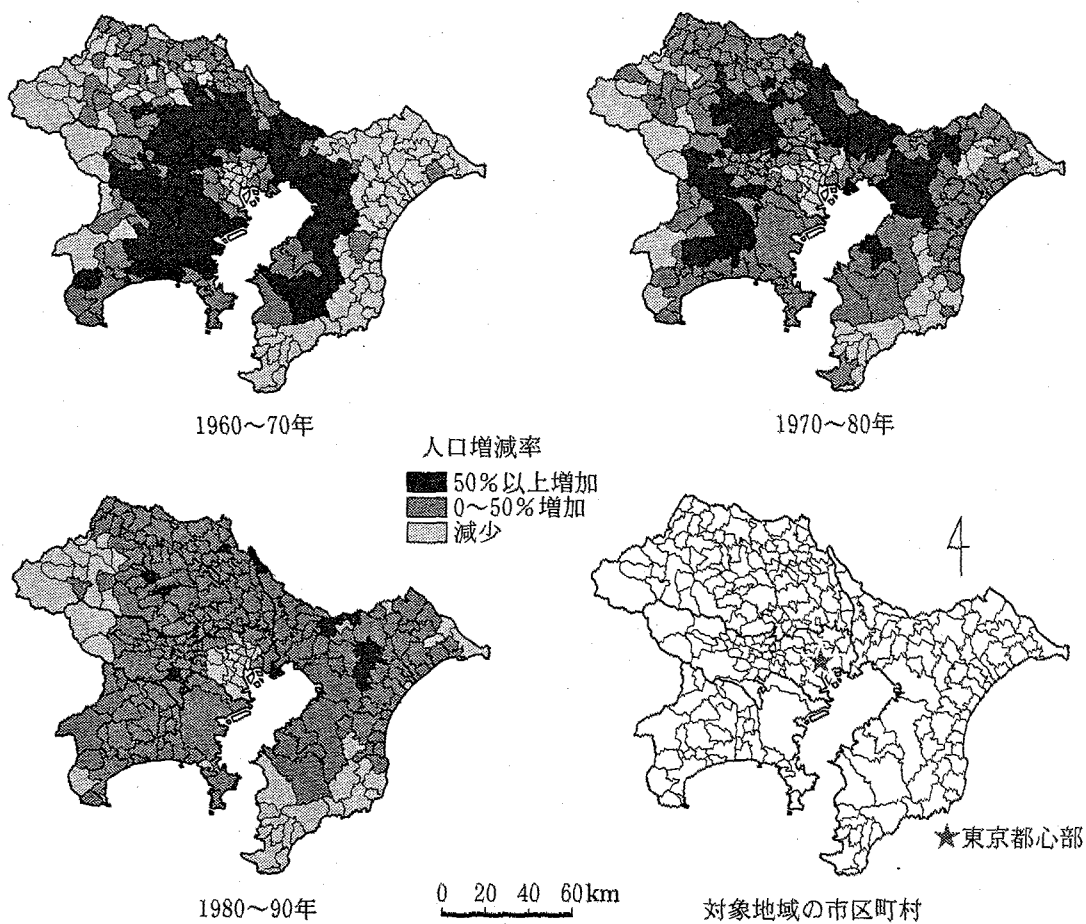


統計年次は2000年。『データでみる県勢』により作成。

図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	愛知県	愛知県	大阪府	大阪府	山形県	山形県
キ	大阪府	山形県	愛知県	山形県	愛知県	大阪府
ク	山形県	大阪府	山形県	愛知県	大阪府	愛知県

問 7 次の図3は、1960年～1990年の三つの時期における東京圏(島嶼部を除く東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)の市区町村別人口増減率を示したものである。図3について説明した文として適当でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 14



市区町村の境界は1990年のものである。
国勢調査により作成。

図 3

- ① 人口のドーナツ化現象は、1960年代に顕在化していた。
- ② 東京都心部から30 km付近では、1970年代に人口増加率が最も高かった。
- ③ 人口増加率が50%以上の市区町村の数は、1980年代には減少した。
- ④ 外縁部の市区町村には1960年以降、人口減少が続いているところがある。

第3問 次の図1を見て、中国を中心としたアジア地域に関する下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 20)

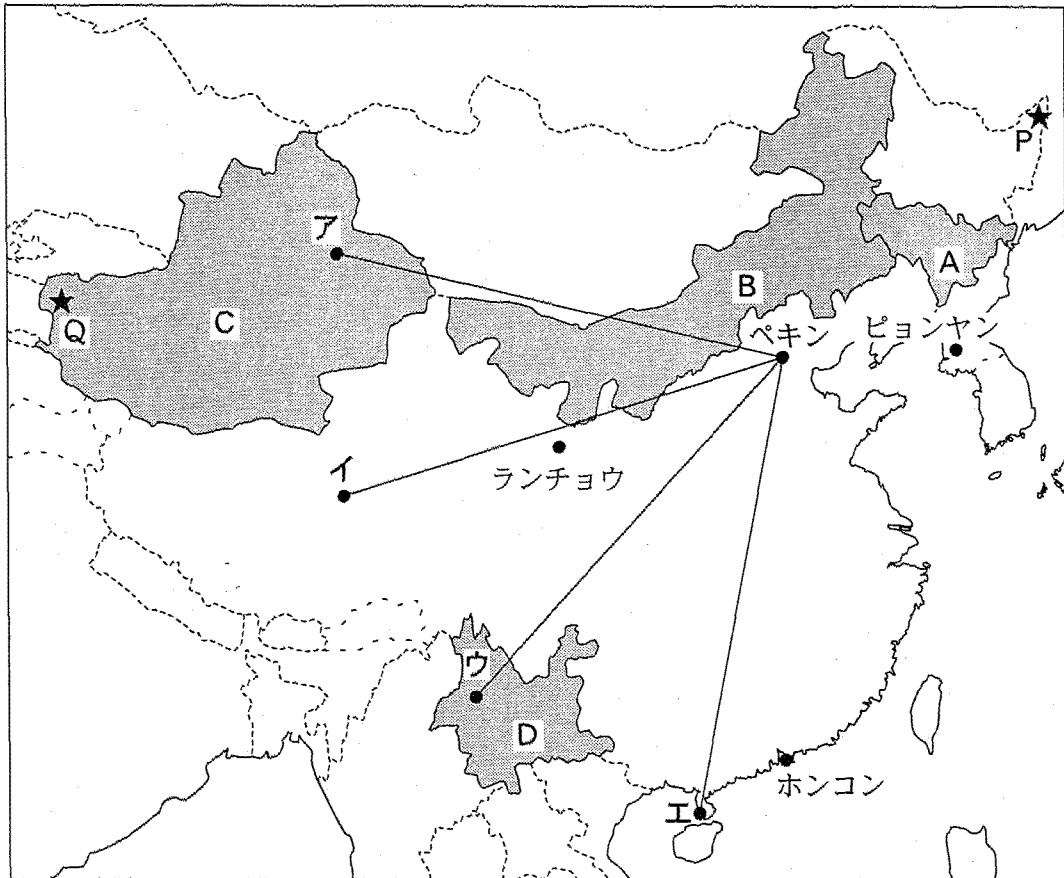


図 1

問 1 図1中に★印で示された中国東端付近の地点Pと、西端付近の地点Qとのおよその経度差として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① 30度 ② 60度 ③ 90度 ④ 120度

問 2 次の図2中の①～④は、図1中のア～エのいずれかの地点とペキンとを結ぶ線に沿った地形断面を示している。地点ウとペキンとの間の地形断面図として最も適当なものを、図2中の①～④のうちから一つ選べ。ただし、水平距離に対して垂直距離は約200倍で表現してある。 16

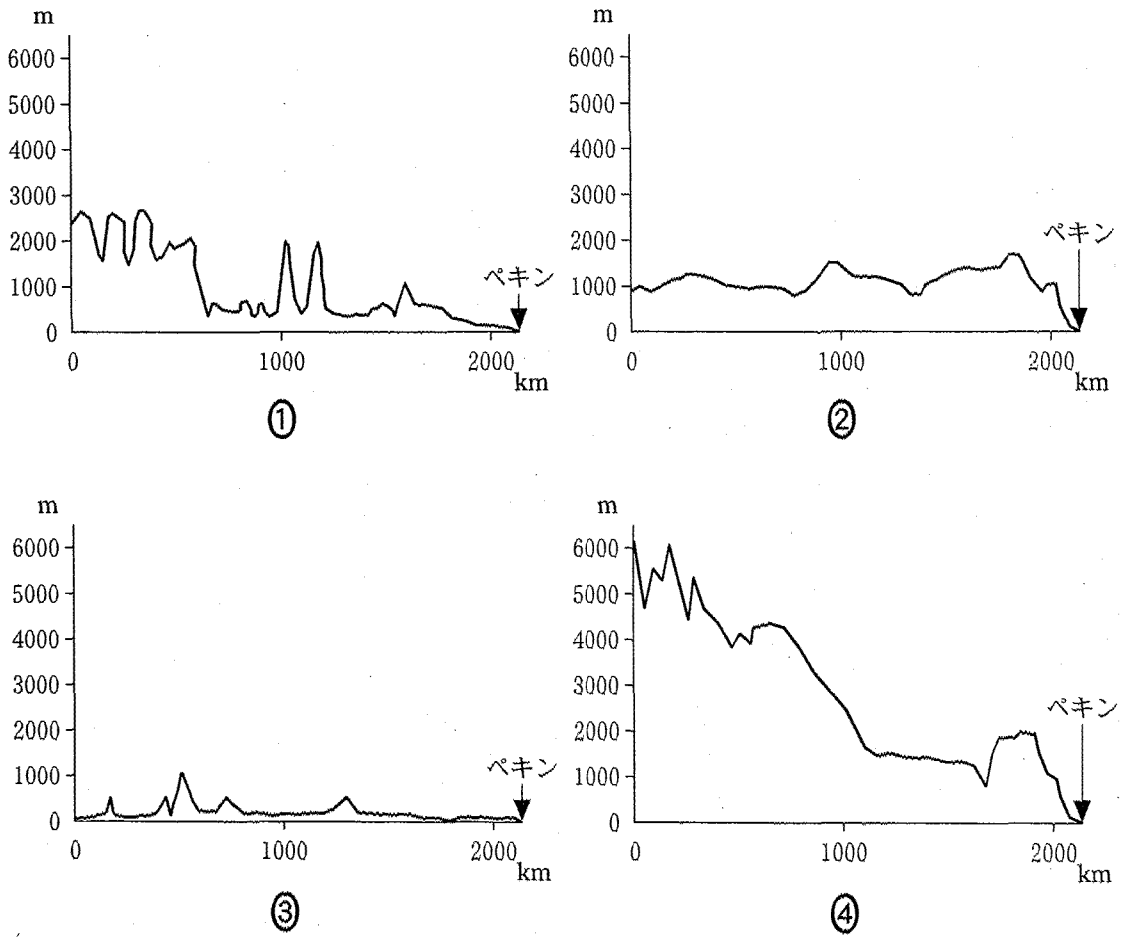
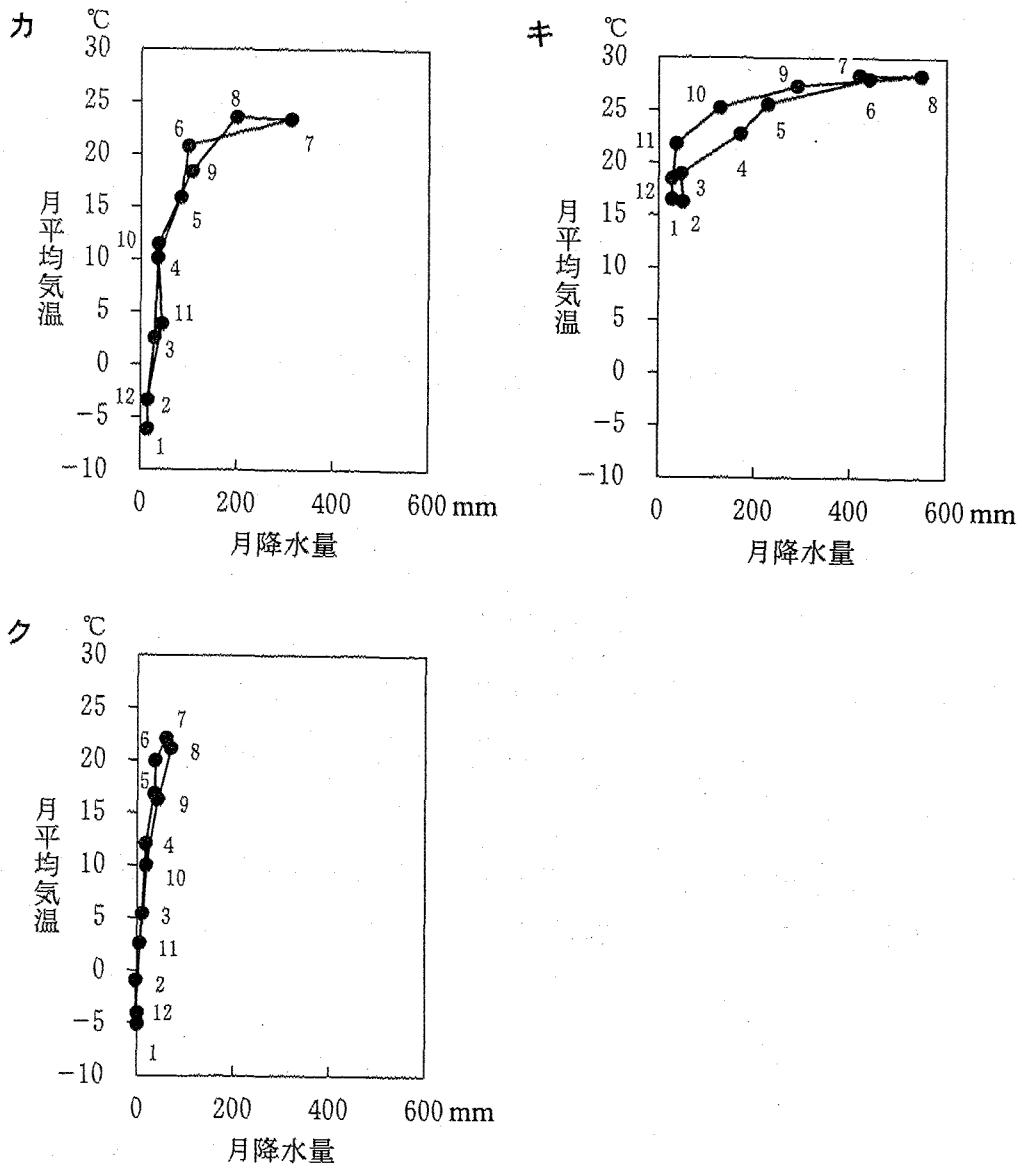


図 2

地理B

問 3 次の図3中のカ〜クは、図1中のピョンヤン、ホンコン、ランチョウのいずれかの都市における月平均気温と月降水量をハイサーグラフで示したものである。カ〜クと都市名との正しい組合せを、次ページの①〜⑥のうちから一つ選べ。

17



『理科年表』により作成。

図 3

	カ	キ	ク
①	ピョンヤン	ホンコン	ランチョウ
②	ピョンヤン	ランチョウ	ホンコン
③	ホンコン	ピョンヤン	ランチョウ
④	ホンコン	ランチョウ	ピョンヤン
⑤	ランチョウ	ピョンヤン	ホンコン
⑥	ランチョウ	ホンコン	ピョンヤン

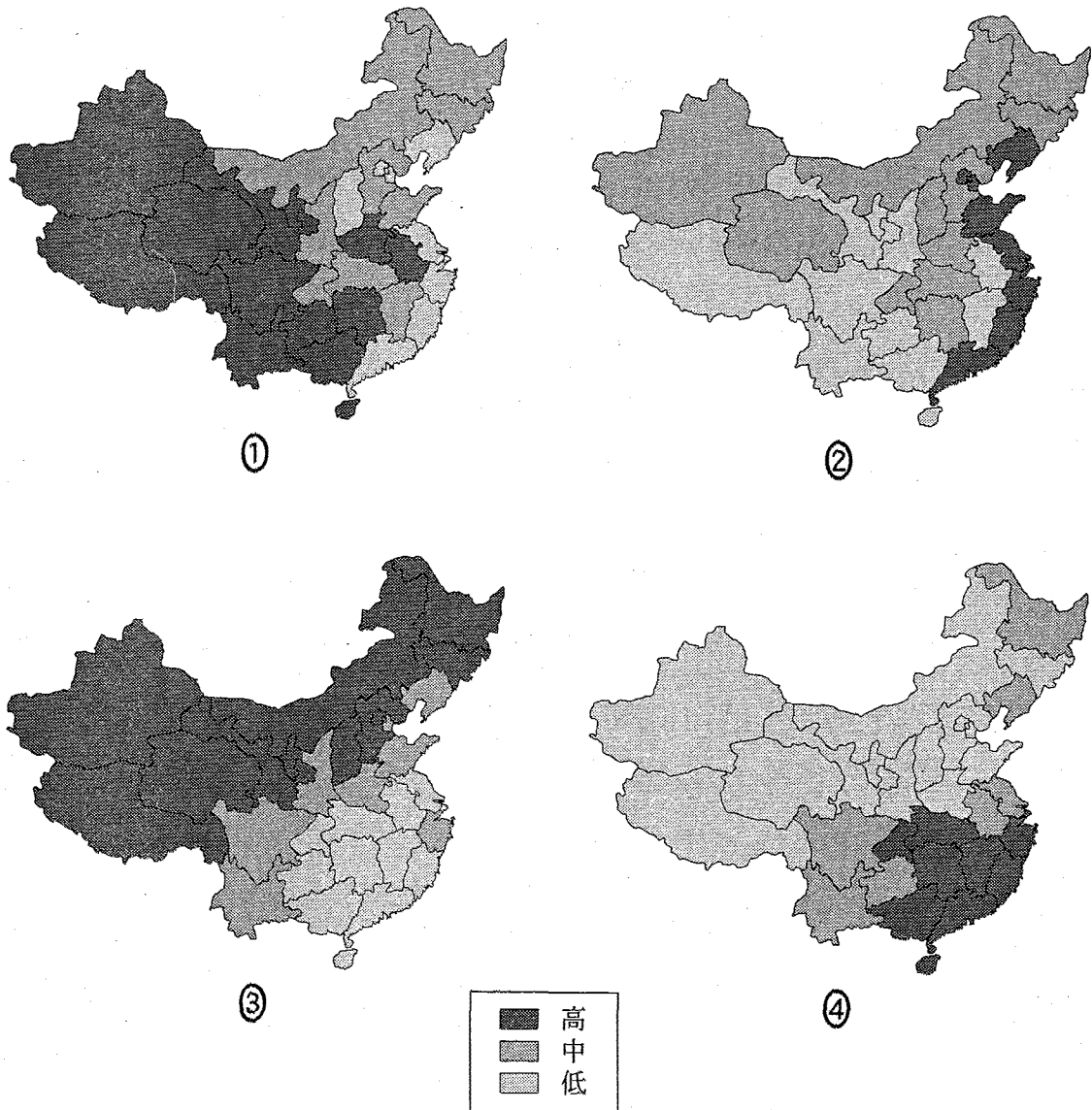
問 4 次の①～④の文は、図1中のA～Dで示された中国の自治区・省に主に居住する少数民族について述べたものである。Cに主に居住する少数民族について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 18

- ① 焼畑農業を営む人々も多く、隣接する国でも同様の生活様式をもつ山岳民族が居住する。
- ② チベット仏教(ラマ教)を信仰する人々が多く、この民族が中心をなす隣国は、近年、計画経済から市場経済に移行した。
- ③ 固有の表音文字を用いる民族で、独特の床暖房設備をもつ住宅が多くみられる。
- ④ 伝統的な家屋形態として日干しレンガの家がみられ、隣接するいくつかの国と同様に、イスラム教の信仰が盛んである。

地理B

問 5 次の図4中の①～④は、中国*における、穀物の生産量に占める米の割合、人口1人当たり域内総生産額、第1次産業就業者比率、農村人口1人当たりヒツジ飼養頭数のいずれかの地域差を行政区分ごとに示している。人口1人当たり域内総生産額を示した図として正しいものを、図4中の①～④のうちから一つ選べ。 19

*台湾を含まない。



統計年次は2000年。
『中国統計年鑑』により作成。

図 4

問 6 次のサ～スの文は、韓国、ベトナム、ロシアのいずれかの国と中国との政治・経済的な関係について述べたものである。サ～スと国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 20

サ 第二次世界大戦後に対立したこともあるが、近年は政治的にも経済的にも交流が活発になっており、この国から中国に進出している企業も多い。

シ ともに国連の安全保障理事会の常任理事国であり、東アジアにおける政治的な安定に両国は大きな影響力をもっている。

ス 石油資源の埋蔵が有望視されている地域の帰属をめぐる対立もあるが、この国の主要輸出先として中国は上位にある。

	サ	シ	ス
①	韓国	ベトナム	ロシア
②	韓国	ロシア	ベトナム
③	ベトナム	韓国	ロシア
④	ベトナム	ロシア	韓国
⑤	ロシア	韓国	ベトナム
⑥	ロシア	ベトナム	韓国

地理B

問 7 次の表1中の①～④は、小麦の生産量、自動車の保有台数、食用の魚介類の消費量、造船竣工量しゅんこうのいずれかについて、世界に占める韓国、中国*、日本の割合を示したものである。食用の魚介類の消費量に該当するものを、表1中の①～④のうちから一つ選べ。 21

*台湾を含む。

表 1

(単位：%)

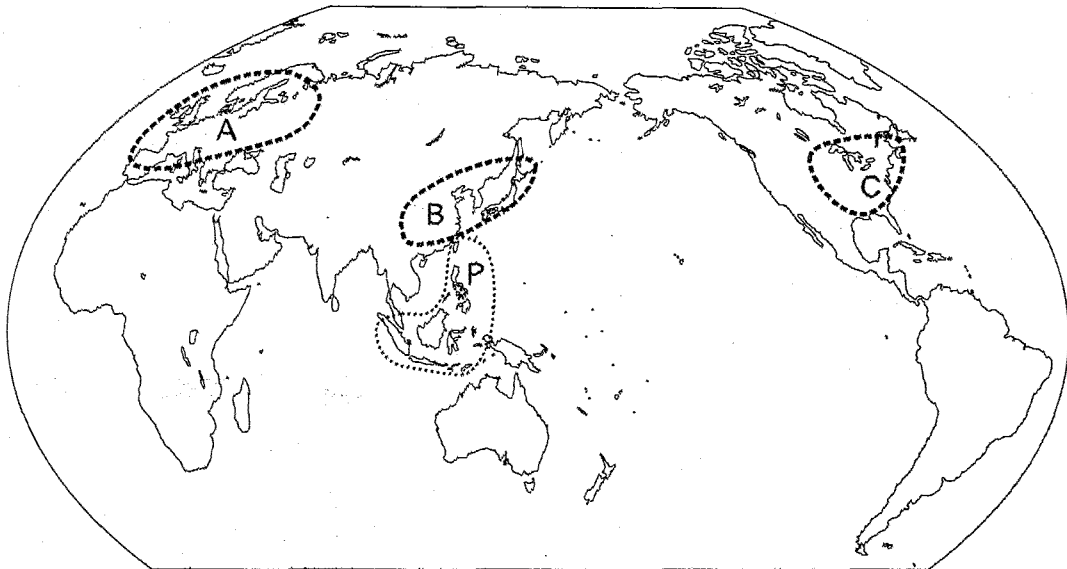
	世界に占める割合		
	韓国	中国	日本
①	0.0	17.0	0.1
②	1.5	2.8	9.7
③	2.0	36.9	7.1
④	38.6	7.1	37.9

統計年次は2000年。

FAOの資料などにより作成。

第4問 現代世界の特徴と課題に関する次の問い(問1～7)に答えよ。(配点 20)

問1 下のア～ウの文章は、次の図1中のA～Cのいずれかの地域における大気汚染や酸性雨問題について述べたものである。ア～ウとA～Cとの組合せとして最も適当なものを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 22



The State of the Environment Atlas により作成。

図 1

- ア 大陸部の、石炭に大きく依存する産業地域の急速な発展にともない、大気汚染物質による住民の健康被害が一部に生じている。大気汚染物質は近隣諸国にも降下しており、生態系への影響が懸念されている。
- イ 国境をはさんだ湖水域周辺の重化学工業地帯から、大量の大気汚染物質が排出された。酸性雨による生態系への影響がみられたが、現在では関係国家間の協力により環境改善が進んでいる。
- ウ 19世紀後半に酸性雨が報告されて以来、大気汚染物質の長距離移動によって、森林の枯死や歴史的な建造物の腐食などの被害が広範囲に生じた。1970年代に国際条約が締結され、環境に関する多国間協力が図られている。

	ア	イ	ウ
①	A	B	C
②	A	C	B
③	B	A	C
④	B	C	A
⑤	C	A	B
⑥	C	B	A

問 2 図1中のP地域において、近年発生した大規模な災害として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 23

- ① 冷害 ② 火山災害 ③ 森林火災 ④ 地震災害

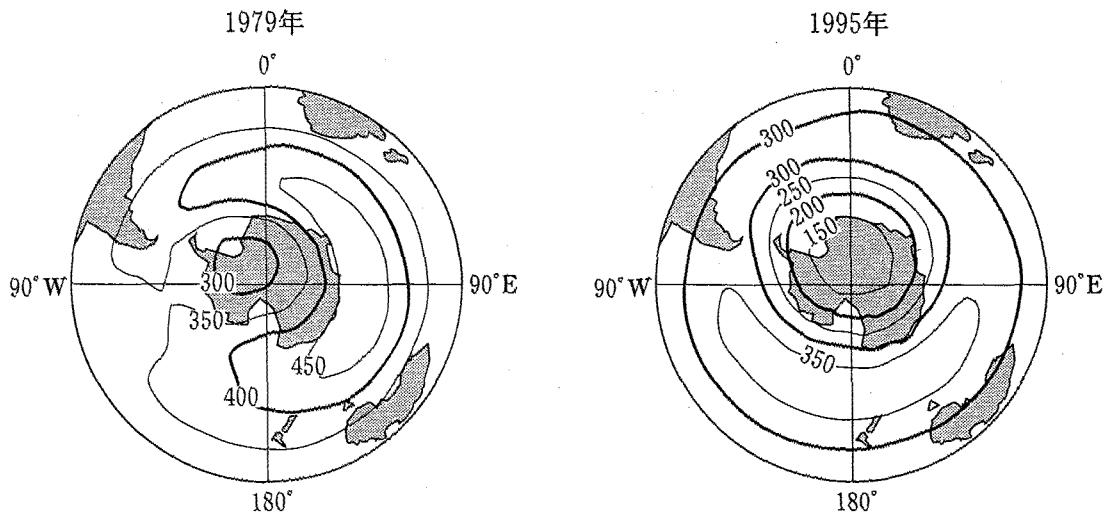
問 3 世界の農業と食生活について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 24

- ① アメリカ合衆国は、世界最大の穀物輸出国であることから、世界の穀物価格に大きな影響を及ぼしている。
- ② エチオピアは、気象災害などによって食料不足や飢餓に直面したが、緑の革命によって食料輸出国に変わった。
- ③ サウジアラビアでは、石油資源の枯渇を見越して伝統的農業が復活し、羊などの肉食からトウモロコシや野菜中心の食生活に変わった。
- ④ 中国では、市場経済の行き詰まりによる穀物生産の不足から、小麦中心の集団農場が復活した。

地理B

問 4 次の図2は、南半球における1979年10月と1995年10月の月平均オゾン全量を示したものである。近年のオゾン層破壊の程度や影響、および対策について述べた文として適当でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

25



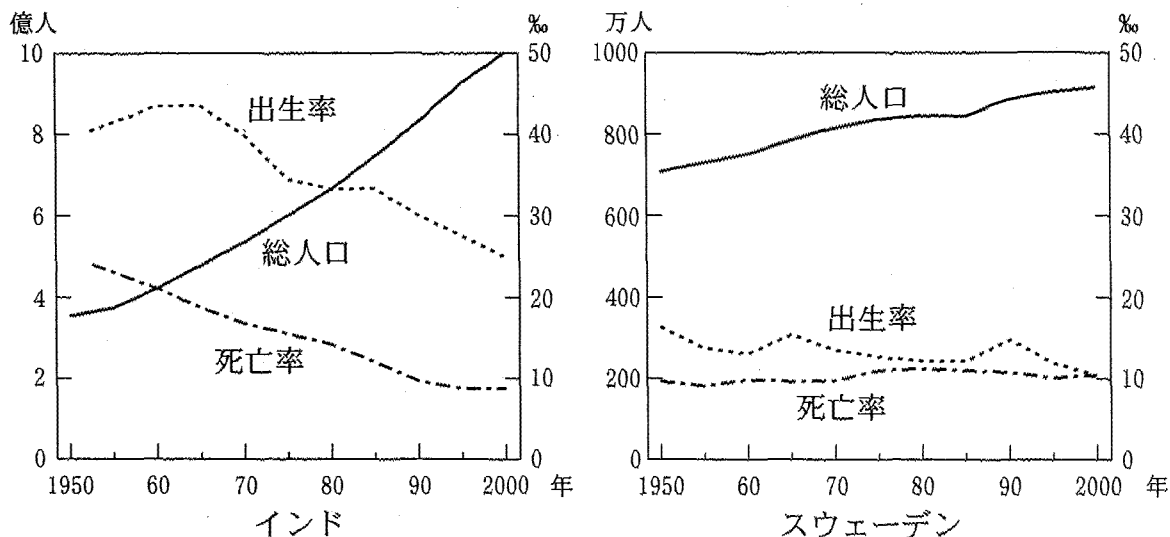
単位は m atm-cm(ミリアトムセンチメートル)。
『今日の気象業務』により作成。

図 2

- ① オゾン全量が 150 m atm-cm(ミリアトムセンチメートル)以下のところは、1979年にはみられないが、1995年には南極大陸の上空に出現している。
- ② 1979年と1995年を比較すると、オゾン全量の減少は、南極大陸だけでなく、南アメリカ南部、オーストラリアなどにまで及んでいる。
- ③ 有害紫外線の増加によって、皮膚癌や白内障などの健康被害が懸念され、オーストラリアではサングラスの着用を勧める学校もある。
- ④ オゾン層破壊の要因となるフロンガスの排出量規制のため、南半球の多くの国々では、国際条約に基づいてフロンガスの使用が全面的に禁じられている。

問 5 人口問題は、世界の各国にとって重要な課題である。次の図3は、インドとスウェーデンの総人口、出生率、死亡率の変化を示したものである。図3の内容に関する文章として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

26



『世界人口年鑑』により作成。

図 3

- ① インドでは、1950年代以降、死亡率の低下が継続してみられた。この間、医療サービスの普及と並行して、日本を上回る高齢化が全国的に進行した。
- ② インドでは、1970年代以降、出生率が継続して低下しているにもかかわらず、総人口が増加を続けた。この間、外国からの大規模な人口流入があった。
- ③ スウェーデンでは、1950年代以降、死亡率が低い水準で推移した。この間、医療制度や高齢者福祉制度が充実した。
- ④ スウェーデンでは、1960年代と1980年代に出生率が上昇に転じた。これらの時期には、女性の社会進出を抑制し、出産を奨励する政策が進められた。

地理B

問 6 次のQ～Sの文章は、世界的な大都市である東京、ニューヨーク、フランクフルトのいずれかについて説明したものである。Q～Sと都市名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 27

- Q 湾の奥に位置し、低地から台地にかけて市街地が広がっている。歴史的な都市を起源とする首都であり、政治・経済・文化の中心である。現在、都心部の再開発が活発に行われている。
- R 二つの川にはさまれた地域に中心業務地区がある。この都市にある証券取引所の動向は、世界の株式市場に影響を与える。2001年の同時多発テロにより大きな被害を受けたが、依然として世界経済の中心である。
- S 大河川の支流に面し、水陸・航空交通の結節点となっている。多様な工業が発達するとともに、世界的な金融・株式市場の中心として成長したこともあり、国家群組織の中央銀行が設置されるに至った。

	Q	R	S
①	東京	ニューヨーク	フランクフルト
②	東京	フランクフルト	ニューヨーク
③	ニューヨーク	東京	フランクフルト
④	ニューヨーク	フランクフルト	東京
⑤	フランクフルト	東京	ニューヨーク
⑥	フランクフルト	ニューヨーク	東京

問 7 ユーラシアのいくつかの国がかかえる社会・経済的な問題について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 28

- ① 中国では、一人っ子政策により少子化が進み、外国人労働力に大きく依存するようになっている。
- ② ドイツでは、統合後、旧東ドイツ地域を対象に政府による大規模な投資が行われたが、旧西ドイツ地域との経済格差は依然として解消されていない。
- ③ マレーシアでは、経済格差是正のため、多数派であるマレー系住民への優遇策がとられたので、少数派の中国系住民からの反発もみられる。
- ④ ロシアでは、社会主義政権崩壊後の経済体制の急激な変化によって、貧富の差が大きくなり、その是正が重要な課題となっている。

第5問 地図と地理情報に関する次の問い(問1～7)に答えよ。(配点 20)

問1 次の図1中のA～Cは、時代が異なる3枚の世界図を示したものであり、次ページのア～ウの文は、A～Cのいずれかについて説明したものである。A～Cとア～ウとの正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

29

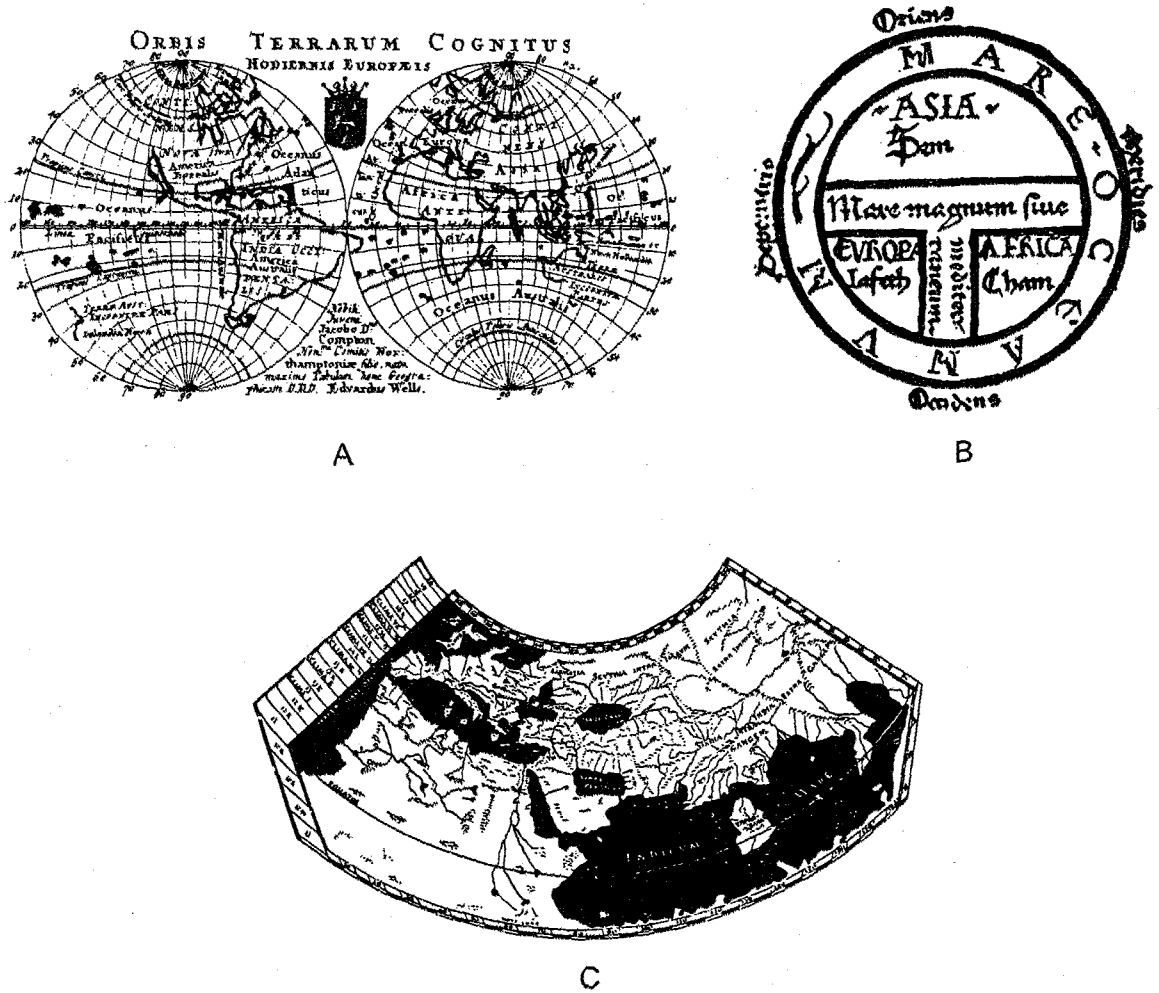


図 1

- ア 古代の地理的知識を表現した世界図であり、南北に比べて東西の距離が過大に描かれている。
- イ 中世の世界図であり、宗教に基づいた世界観が表現されている。
- ウ 近世以降の世界図であり、大航海時代における地理的知識の拡大が反映されている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
B	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
C	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

問 2 正距方位図法とメルカトル図法の地図について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 正距方位図法の地図では、大圏航路が任意の2点間の直線で表される。
- ② 正距方位図法の地図では、等角航路が任意の2点間の直線で表される。
- ③ メルカトル図法の地図では、大圏航路が任意の2点間の直線で表される。
- ④ メルカトル図法の地図では、等角航路が任意の2点間の直線で表される。

問 3 地図は、作成目的に応じて一般図と主題図に分けられる。主題図について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 31

- ① 海図は、海域における生物の種類と分布を示した地図である。
- ② 鉄道の路線図は、駅の順番や路線の接続などを示した地図である。
- ③ 人口分布図は、人口の規模や密度などの地域的差異を示した地図である。
- ④ 災害予測図(ハザードマップ)は、災害被災地となり得る範囲などを示した地図である。

地理B

問 4 地形図は、地域に関する様々な情報が盛り込まれた一般図である。次の図2の5万分の1地形図(原寸)から読み取れることを述べた文として適当でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

32

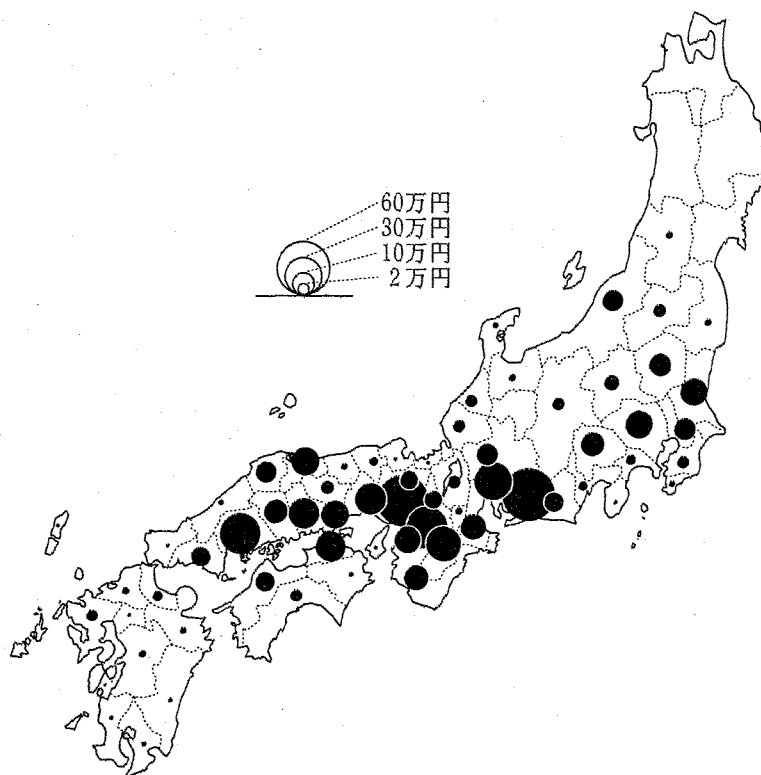


図 2

- ① 図の北部から北東部にかけては、大規模な工場が立地している。
- ② 図の中央部には、丘陵の麓^{ふもと}にいくつかのため池がみられる。
- ③ 図の南東部には、大規模なニュータウンが建設されている。
- ④ 図の西部には、古代の政庁に由来する地名がみられる。

問 5 次の図3は、1877(明治10)年における綿花の生産額を地域別に示した主題図である。図3について説明した文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

33



Baker ほか編, *Period and Place* による。一部改変。

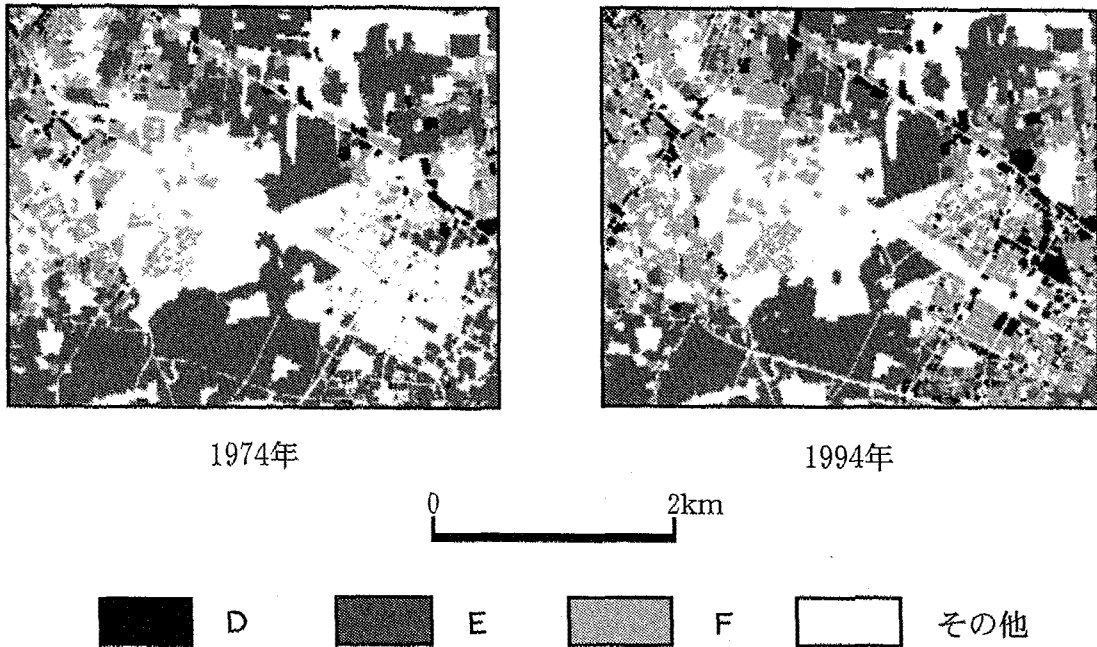
図 3

- ① 絶対値の分布を点の位置で表したドットマップである。
- ② 絶対値の分布を円の面積で表した図形表現図である。
- ③ 相対値の分布を点の位置で表したドットマップである。
- ④ 相対値の分布を円の面積で表した図形表現図である。

地理B

問 6 次の図4は、GIS(地理情報システム)を用いて作成した、日本の大都市近郊地域における1974年と1994年の土地利用図である。また、凡例のD～Fは住宅地、商業・業務用地、農地のいずれかである。D～Fと土地利用との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

34



国土地理院の資料により作成。

図 4

	D	E	F
①	住宅地	商業・業務用地	農地
②	住宅地	農地	商業・業務用地
③	商業・業務用地	住宅地	農地
④	商業・業務用地	農地	住宅地
⑤	農地	住宅地	商業・業務用地
⑥	農地	商業・業務用地	住宅地

問 7 GIS(地理情報システム)の利用について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 35

- ① 地図の重ね合わせが可能なので、多種類の地理情報を同一の地図上で容易に関連づけることができる。
- ② 歩行者通行量のデータから、二つの地点間の最短距離を容易に計算することができる。
- ③ 面積の計算が可能なので、土地利用変化の計量的な分析を容易に行うことができる。
- ④ 地表面の標高データから、地形の立体図や鳥瞰図ちようかんを容易に作成することができる。